

子どもたちをネットトラブルから守り、 現代社会に必要な情報リテラシーを 伝えるために

一般社団法人 日本情報モラル推進機構 ^{ジーマ} (JIMA)



2014年7月 福井県美浜南小学校での講演（講演者：笹本）

JIMAは「子どものICT[※]利用に関わる諸問題」を主に情報モラルの視点から解決し、子ども達がICTを安心・安全に使いこなしながら、その素晴らしい才能を存分に発揮できる社会を築くことを目的としています。

※ICT：情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称

学校や家庭で、こんなネットの問題が起きています

- LINEなどによる人間関係のトラブル / ネットいじめ
- 生徒名簿や内部情報が写真などで公開されてしまう
- ネット依存状態になり、不登校に
- ネットで知り合った相手と実際に会った結果、犯罪に巻き込まれる
- 個人情報の流出によって、ストーカーや詐欺、強迫などの被害に遭う
- 犯罪予告などの悪ふざけの投稿で、警察が出動
- 不謹慎な投稿が炎上に発展し、個人や学校が特定される
- ネットゲームで何十万円もの請求が発生



スマートフォンやネット対応のゲーム機の普及により、子どもとネットとの関わりはより身近で深いものとなりました。

たった一枚の写真が「炎上」を引き起こし、本人はもちろん、学校や周囲の人間を巻き込む重大事へと発展することもあります。

子どもたちの将来を、ネットで傷つけないために。

JIMAは情報モラルの専門家として、最新の状況に合わせた講演や授業を行ってまいります。

JIMA 理事長 竹村順吾

児童・生徒向け、先生向け、保護者向けに講演を行います

児童・生徒向け 講演/授業

『今日からできる！ ネットのトラブルから自分を守る方法』(45分)

- ネットは便利だけどトラブルもいっぱい
- なぜネットではケンカが起きやすいのだろうか？
- 悪ふざけの投稿だけで逮捕されることもある
- 「誰が書き込んだか」は調べれば簡単に分かる
- 個人情報の書き込みはトラブルや犯罪の元
- 「炎上」はずっとネットに残ってあなたの将来を傷つける
- 使いすぎに注意！ ネットやゲームをしない時間も作ろう

※ 学年に合わせた内容でお話しします。

学校講演料：

全国一律5,000円 + 交通費 (遠方の場合)

お問い合わせ先：

一般社団法人日本情報モラル推進機構 (JIMA)

〒916-0073 福井県鯖江市下野田町4-1-3 (株式会社ウォンツ内)

TEL: 0778-62-3793 メール: sasamoto@wants.jp (担当: 笹本)

先生向け 講演/研修会

『学校でどのように情報モラル教育を行うか』(50分)

- いま子どもたちはネットで何をしているか
- 様々なトラブルの事例を知る
- 情報社会を生きる子ども達に指導しておきたいこと
- 炎上事件が起きたら？ 学校における適切な対応とは
- 特別活動 学級活動の中での指導例
- 総合的な学習の時間での指導例

保護者向け 講演

『今日からでも間に合う！ 我が子をネットから守る3つの行動』(50分)

- 1 「大人も危険！ ネットのトラブルや犯罪を知る」
- 2 「スマホやゲーム機の機能を制限する方法」
- 3 「家庭で決めておくべき最低限のルール」